

平成25年度医学部入学定員の増員に係る各大学の取組の概要

資料3

○ 地域枠

大学名	平成24年度定員	平成25年度増員計画		平成25年度定員(計画)	平成25年度増員計画 教育内容の概要
		都道府県			
[国立]					
弘前大学	125	2	青森県2	127	早期からの地域医療関連教育の充実や、へき地医療機関での臨床実習の義務化のほか、寄附講座「地域医療学講座」「地域健康増進学講座」での地域教育活動を加え、プライマリケアを中心とした地域医療に密接した医学教育を行う。また、地域中核医療機関との連携により構築する「弘前大学専門医養成病院ネットワーク」により、学部教育から専門医養成まで一貫した医師養成体制を実施する。特に平成25年度以降は臨床実習時間の延長により、地域における臨床実習を一層充実させていく予定。
東北大学	125	10	宮城県10	135	昨年度に引き続き1年次の地域医療関連科目の中で「地域医療動機付け教育」を強化し、学生の意識の向上を図る。また、東北地方の4大学病院と広域的に連携し、学部教育から専門医教育、大学院教育まで一貫した医師の生涯キャリアパスの支援体制を今後も引き続き生かしていく。 さらに、東日本大震災を契機に昨年度から、1年次で災害医療に関する基礎知識修得を図るとともに、2、5、6年次で行う各種医療実習では、震災被害を受けた病院等に訪問・実習等を開始しており、引き続き着実な実施を図る。
筑波大学	115	2	茨城県2	117	プライマリケアの第一線で活躍する医師から地域医療の実際を学ぶ、地域クリニックシップを実施している。特に、水戸協同病院内に大学の講座を設け、大学教員を派遣することで、地域医療の支援とともに、地域医療に関する医学教育の充実を図っており、引き続き県内各地に拠点を拡充している。
新潟大学	125	2	新潟県2	127	1年次から診療所などでの施設における体験実習を経験させるとともに、6年次の臨床実習において、合計8週間の地域の基幹病院などの学外の医療機関における臨床実習を実施している。 また、平成27年度開院に向けて整備している「魚沼基幹病院(仮称)」内に講座を設置し、地域医療の支援とともに、地域医療に関する医学教育の充実を図っていくことを構想しており、平成25年度に「新潟大学歯学総合病院魚沼地域医療教育センター(仮称)」(設置準備室)を設け、教育・研修プログラムなどの準備を進めていく予定。
信州大学	115	5	長野県5	120	地域枠入学生に学生の出身地に近い医療機関の病院長等による学外担任を設け、夏季・春季休業等に地域医療の現状について学ぶ機会を充実させるなど、大学と地域が連携して医学生の育成に取り組み、卒後の地域定着を推進している。また、地域医療に取り組む魅力ある医師を講師とした講演会を毎月実施している。 さらに、臨床実習の拡充(72週の期間確保)にあたり、学外の病院での24週間の臨床実習を必須とする。
神戸大学	113	2	兵庫県2	115	総合内科などの地域医療に関する科目を順次拡充し、各学年を通して地域医療教育に取り組むとともに、丹波・但馬地域の基幹病院などで臨床実習を行い、全人的に患者を診療することを学ぶ。 また、卒業教育においては、昨年度設置した「総合臨床教育センター」を活用し、卒前教育と一環した教育体制の構築を図る。 平成26年度以降は、県と連携して大学内に「地域医療活性化センター」を設置し、地域医療の支援とともに、地域医療に関する教育・研修を充実させていく予定。
広島大学	117	3	広島県3	120	地域枠入学者が中心になった「地域医療研究会」を毎週開催し、医療面接や基本診察の実習、地域医療に関するディスカッション等を行っている。また、地域医療機関の臨床指導医や、医学部生も参加できるファカルティ・ディベロップメントを定期的に開催し地域に根ざした医療人の養成を目指す。
香川大学	113	1	香川県1	114	地域医療人の生涯にわたる医療技術の維持と向上を支援するため、入学から卒前・卒業臨床研修、専門医修得までの流れの中で、地域医療を担う医療人の教育・研修を目的に県からの寄附金による地域医療教育支援センターを設置するとともに、県、県医師会、県内中核病院と協力し、専門医および総合医の育成を目的とした研修プログラム「香川県医師育成キャリア支援プログラム」を策定した。 平成24年度から県の地域医療再生計画に基づき、香川県として重要な「難病医療対策」及び「結核・感染症対策」に特化した寄附講座等を新設している。
[公立]					
福島県立医科大学	125	5	福島県5	130	ホームステイにより地域住民と触れ合いながら実習を行う取組などに加え、シミュレーション教育や医師不足の顕著な診療科の医療現場における研修等の充実により、実践能力を備えた医師の養成に努めるとともに、災害医療総合学習センターにおいて、放射線に関する特性を正しく理解し、放射線災害に的確に対応できる人材を育成する。 また、医療人育成・支援センター等を充実させ、学部教育から生涯教育まで一貫したキャリア形成支援を行い医師の地域定着を図る。 今後は、平成25年度開設予定の会津医療センターにおける、地域に根ざした臨床実習等の取組を予定。
[私立]					
岩手医科大学	125	3 (歯2)	岩手県3 (歯2)	130	学部1年生から5年生まで、系統的に地域医療の現場において見学研修や医療実習を行い、実際に地域医療の診療に参加することで地域医療を担う意思を持つ学生の教育を行っている。さらに、県内全基幹型研修病院で構成する「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群」を通じた卒業研修により学部教育と連動して一貫した地域医療研修の充実を図る。また、歯学部卒業生を対象とする医学部学士編入学制度を設け、口腔領域を含めた総合医療を提供できる医師の育成を目指すことで全人的医療人の養成をさらに推進する。 平成25年3月に完成予定の「災害時地域医療支援教育センター」においては、研修医や学生に対して、被災地を含めた災害医療を担う人材育成を実施する予定である。

大学名	平成24年度定員	平成25年度増員計画 都道府県	平成25年度定員(計画)	平成25年度増員計画
				教育内容の概要
獨協医科大学	118	2 栃木県 2	120	臨床前実習として、第1学年の「コミュニティヘルスインターンシップ(CHI)」で地域の精神病院又は福祉施設における体験実習、第3学年の「アドバンスドコミュニティヘルスインターンシップ(ACHI)」で看護部配属実習・臨床各科配属実習を行う。更に、第1学年～第3学年でプライマリヘルスケアを学ぶ「地域包括医療実習」を実施しており、平成25年度以降は、第4学年でも実施する予定。 また、第5学年においては、地域医療の第一線機関である保健所等において「地域保健実習」を行っている。
北里大学	117	2 茨城県 2	119	6年次の選択実習における、「産婦人科実習」「小児科実習」「公衆衛生実習」「耳鼻咽喉科実習」において、地域の医療機関等で行う地域医療実習を実施している。 また、平成24年度からは、2年次において「早期体験実習プログラム」を実施している。
合計		39		

## ○研究医枠

大学名	平成24年度定員	平成25年度増員計画	平成25年度定員(計画)	平成25年度増員計画
				教育内容の概要
[国立]				
東京医科歯科大学	105	1	106	日本医科大学と連携して実施する「研究者養成コース」において、5年次以降の学生に対し高度な基礎研究を指導する。コース選択の前段階である2年次から、基礎系の研究室において研究に触れることができる科目を選択科目として開講し、学生が研究を志向する動機付けを行っている。 コースの修了者は最長三年間、特任助教相当ポストとして本学医学科基礎系分野にて雇用されることが可能。
千葉大学	120	2	122	学部の1年次から研究室に配属し指導教員の下で研究に触れさせるとともに、6年次までに研究発表や論文作成を行う。東京大学、群馬大学、山梨大学と連携したコンソーシアムにおいて、合宿形式の研究発表会や特別講演会を実施する。 今後、「先端研究リサーチフェロー制度」を設置し若手の基礎研究医を雇用することで、コース生を指導する体制を充実していくことを予定。
[私立]				
埼玉医科大学	120	1	121	慶応大学、女子栄養大学と連携し、4年次から進学する「基礎医学研究者養成コース」(仮称)を設置する。コースでは、他大学と連携して学部生の段階から基礎系の研究室に配属して指導を行うとともに、「海外研究体験留学制度」を導入し、提携先の大学において1～3ヶ月の研究を経験させる。 博士号取得後は、埼玉医科大学で助教として採用し、研究・教育を継続できるよう支援する。
順天堂大学	121	3	124	基礎医学研究者養成プランにおいて、新潟大学と連携し、3年次以降の学生に対し、若手教員等の指導のもとで継続して基礎研究を行うことが出来るコースを設ける。学部生の間にTOEFLに対応できる英語教育を実施するとともに、大学院においてはメンターによる指導のもと、主として英語環境下での研究指導を推進。短期留学や国際学会等での発表を支援し、国際的に通用する研究医を養成する。また、博士号取得後基礎医学を専攻する者を助教として採用し、卒業後のキャリアを支援する。
関西医科大学	110	2	112	1年次の段階から、研究医を志向する学生10名～20名程度を対象に、6年一貫新カリキュラムの正課に組み入れるだけでなく、授業時間外等に研究へ参加させる「研究医養成プログラム」を実施する。基礎的なアカデミックなトレーニングを施された学生の中から、3年次に4名以上を「研究医養成コース」に選抜し、論文指導や合宿形式での研究発表などを体験させ、修士研究論文の提出をもって同コースの修了とする。 学生指導にあたっては、奈良県立医科大学、大阪医科大学と連携して構築したコンソーシアムにおいて、合宿形式の研究発表会を実施する。また、研究医養成コースの学生の、大学院学生としての2大学への国内留学を可能とする。 卒後は、博士研究員又は教員として5年以上の雇用を保証する。
合計		9		

## ○歯学部振替枠

大学名	平成24年度定員	平成25年度増員計画	平成25年度定員(計画)	平成25年度増員計画
				教育内容の概要
[私立]				
岩手医科大学 【再掲】	125	2 (地域枠3)	130	学部1年生から5年生まで、系統的に地域医療の現場において見学研修や医療実習を行い、実際に地域医療の診療に参加することで地域医療を担う意思を持つ学生の教育を行っている。さらに、県内全基幹型研修病院で構成する「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群」を通じた卒業研修により学部教育と連動して一貫した地域医療研修の充実を図る。また、歯学部卒業者を対象とする医学部学士編入学制度を設け、口腔領域を含めた総合医療を提供できる医師の育成を目指すことで全人的医療人の養成をさらに推進する。 平成25年3月に完成予定の「災害時地域医療支援教育センター」においては、研修医や学生に対して、被災地を含めた災害医療を担う人材育成を実施する予定である。
合計		2		